

クレジット:

UTokyo Online Education 学術俯瞰講義 2017 古田元夫


ライセンス:

利用者は、本講義資料を、教育的な目的に限ってページ単位で利用することができます。特に記載のない限り、本講義資料はページ単位でクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 ライセンスの下に提供されています。

<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>

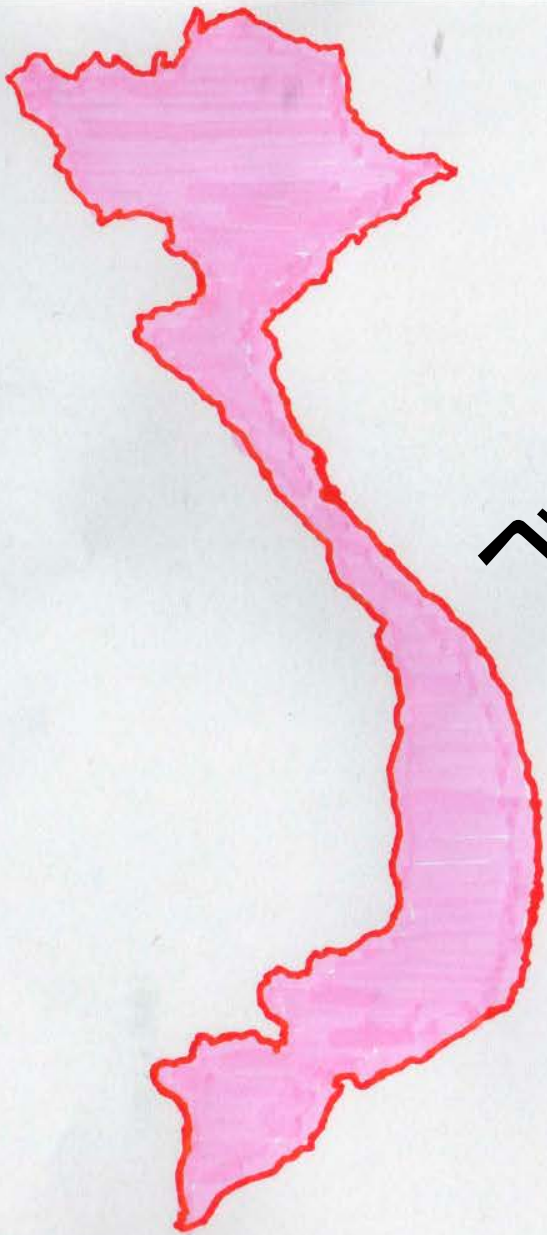
本講義資料内には、東京大学が第三者より許諾を得て利用している画像等や、各種ライセンスによって提供されている画像等が含まれています。個々の画像等を本講義資料から切り離して利用することはできません。個々の画像等の利用については、それぞれの権利者の定めるところに従ってください。





社会・文化の側面から見た アジアのサステナビリティ学 ベトナムの場合

5月18日
古田元夫

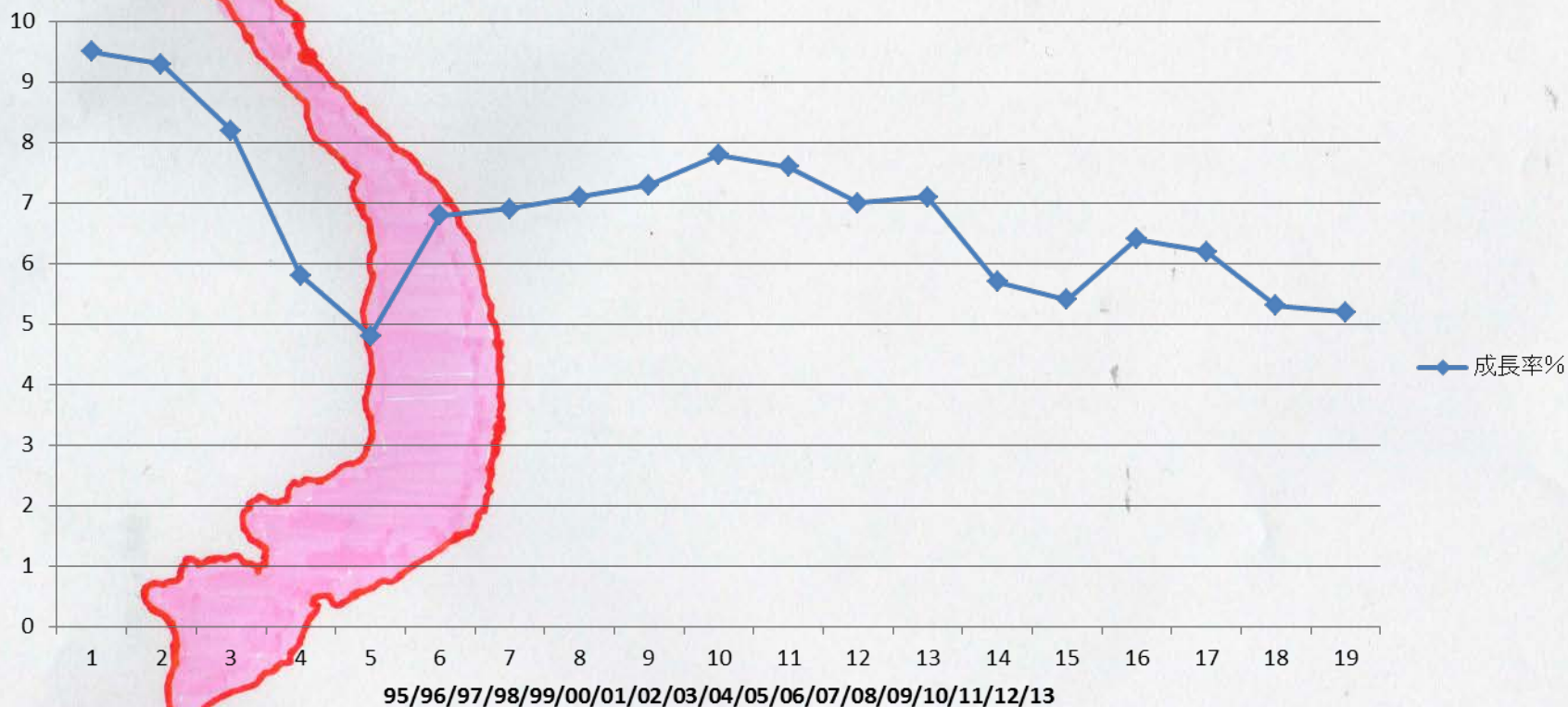


ベトナムの現状

ベトナムの経済成長

2014-6.0%, 15-6.7%

ベトナム経済成長率%
1995-2013

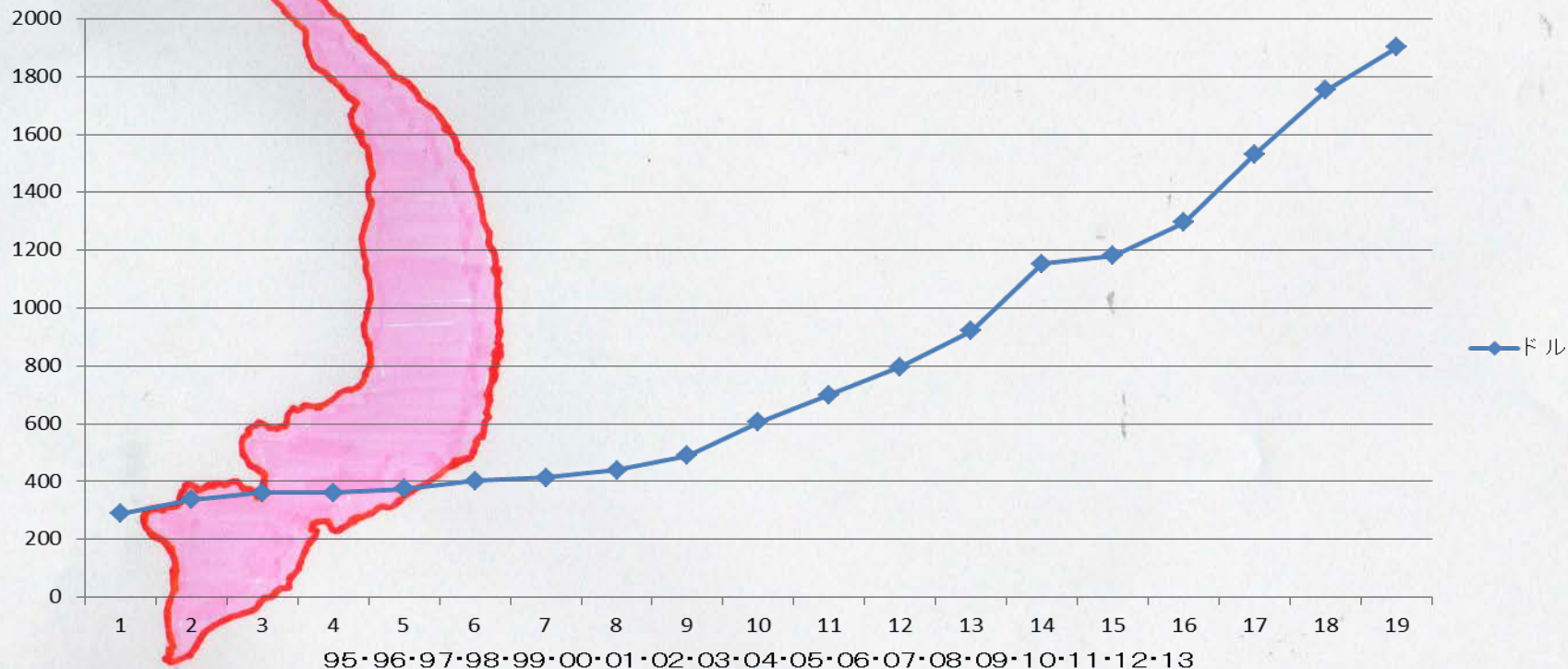


国民一人あたりのGDP

1995-2013 (2016年推計2215 \$)

86\$(1986), 415\$(2001)

国民一人あたりのGDP
1995-2013





依然大きな周辺諸国との格差

- 2013年の一人あたりGDP(ドル)
- マレーシア 10,457
- タイ 5,676
- インドネシア 3,510
- フィリピン 2,791
- ベトナム 1,902
- ラオス 1,594
- ミャンマー 1,113
- カンボジア 1,028

ベトナムのGDPの産業別構成比

2013年農林漁業17.7%工業38.7%サービス業43.6%

ベトナムのGDPの産業別構成比

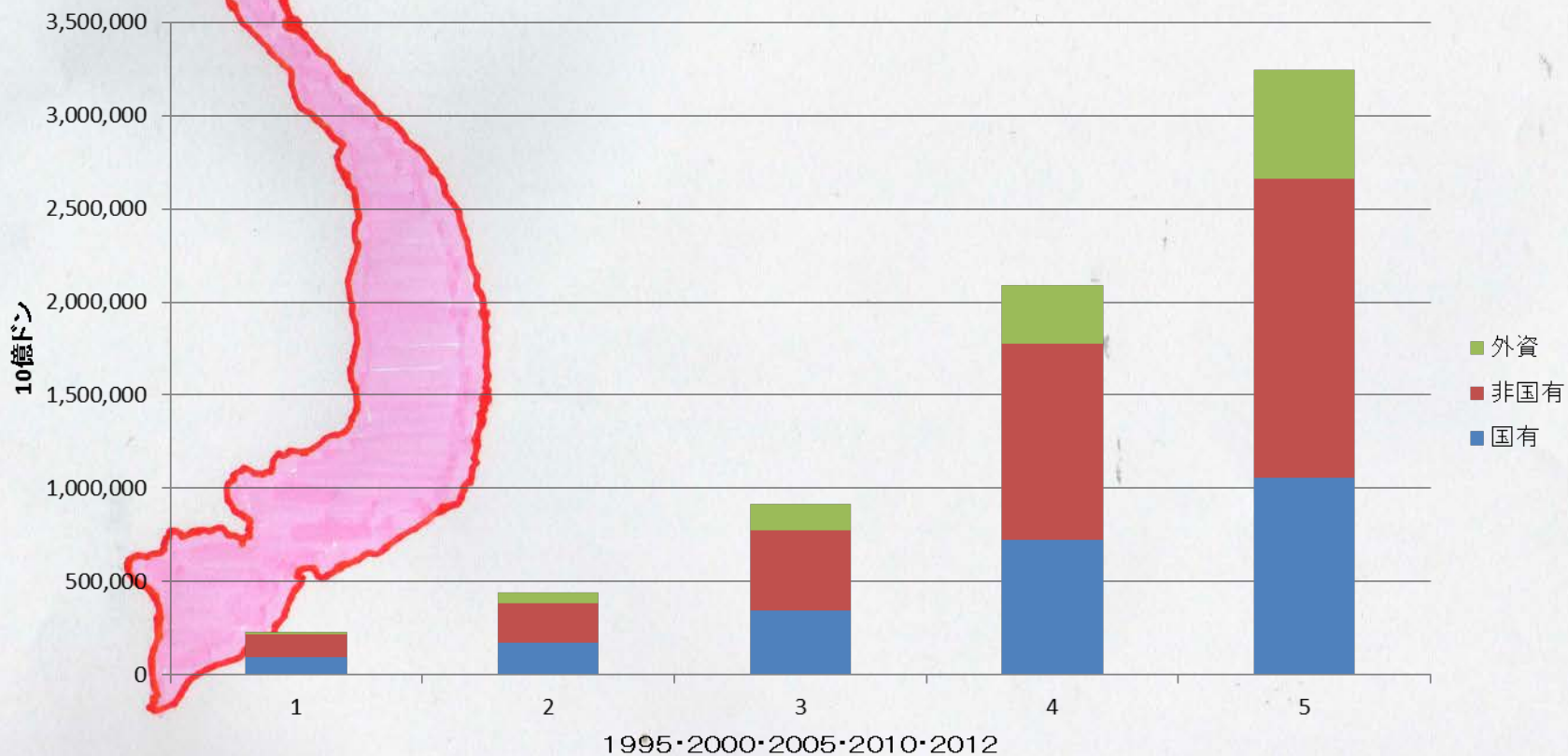


多セクター経済

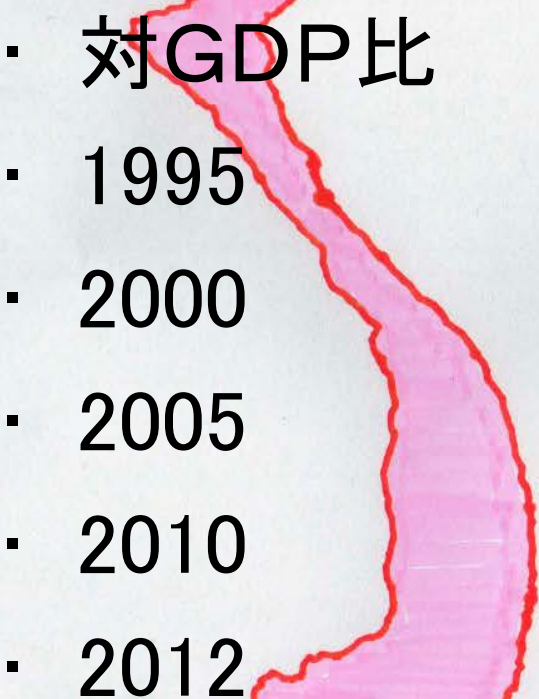
経済成長の原動力としての外資

2012年 国有32.6 非国有49.3 外資18.1

セクター別のGDPへの貢献
1995-2012



GDPのセクター別構成の推移

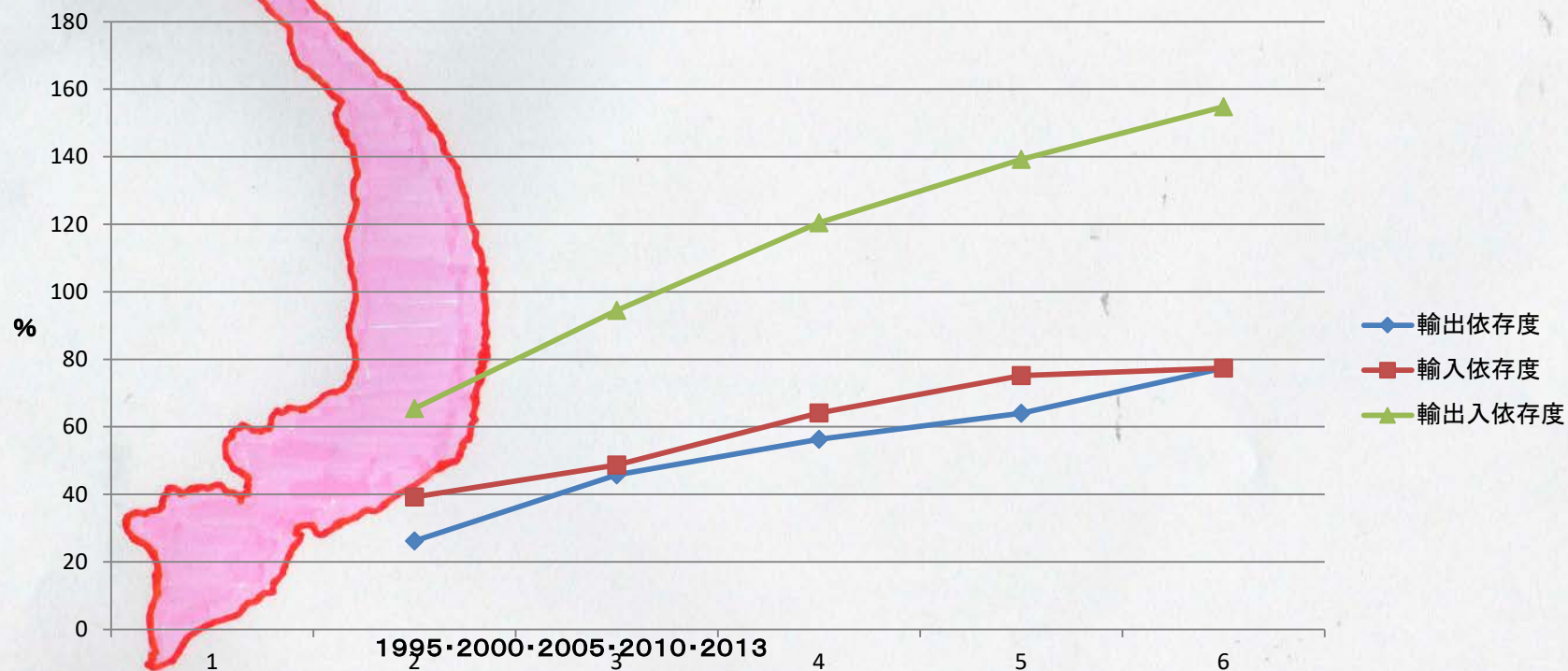


対GDP比	国有	非国有	外資
1995	40.2	53.5	6.3
2000	38.5	48.2	13.3
2005	37.6	47.2	15.2
2010	33.5	48.8	14.5
2012	32.6	49.3	18.1

ベトナムの輸出入依存度

輸出依存度(2009)シンガポール151.8
タイ57.5、インドネシア22.1

ベトナムGDPの輸出入依存度
1995-2013



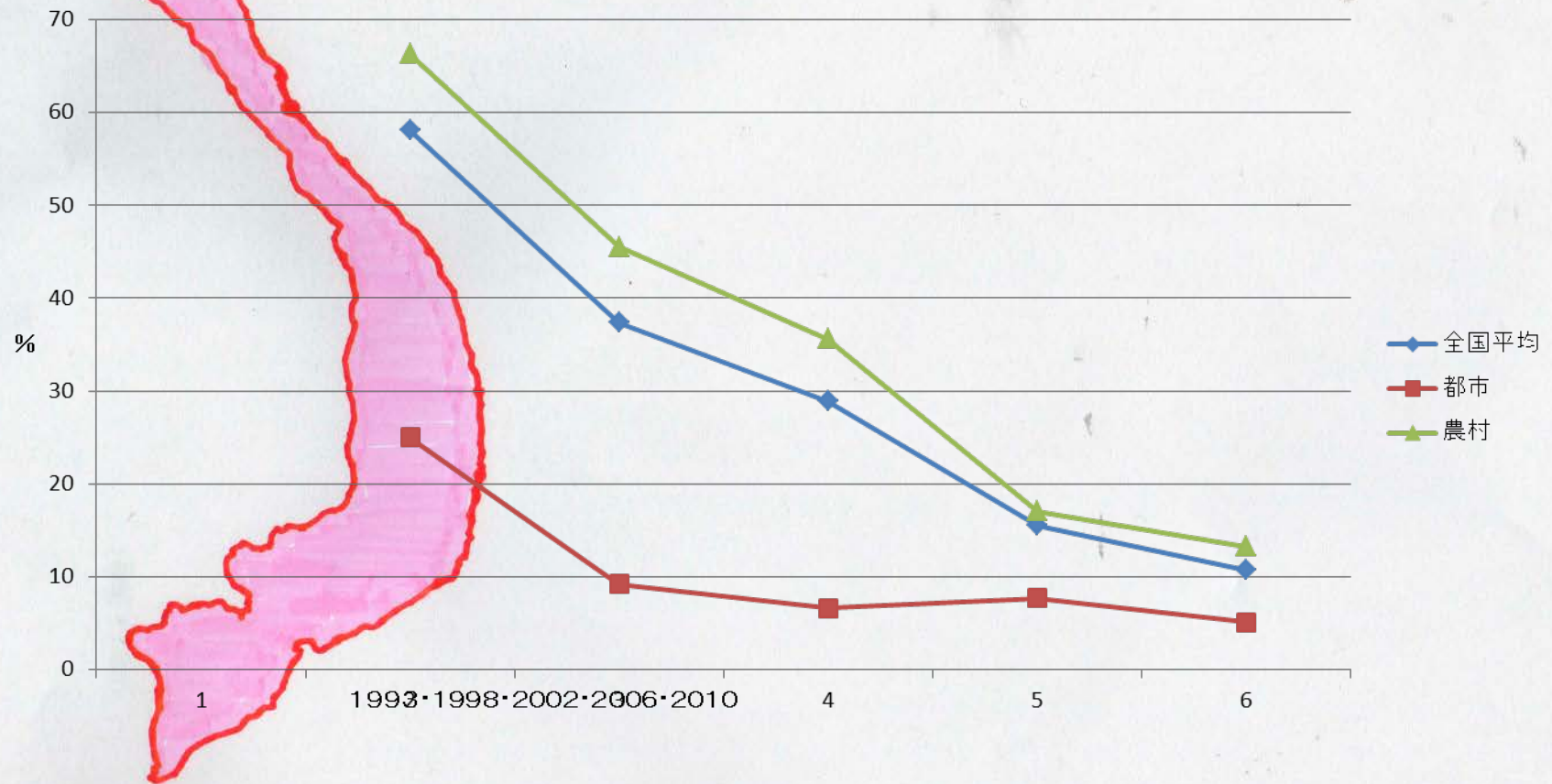
貧困の基準（ベトナム政府）



	農村	都市
• 2004	168,000ドン	218,000ドン
• 2006	200,000	260,000
• 2008	290,000	370,000
• 2010	360,000	450,000
• 2010年の対全国平均比		
•	農村 34%	都市 21%
• ドル換算	19.4ドル	24.2ドル

貧困削減 顕著な成果

ベトナムの貧困家庭1993～2010

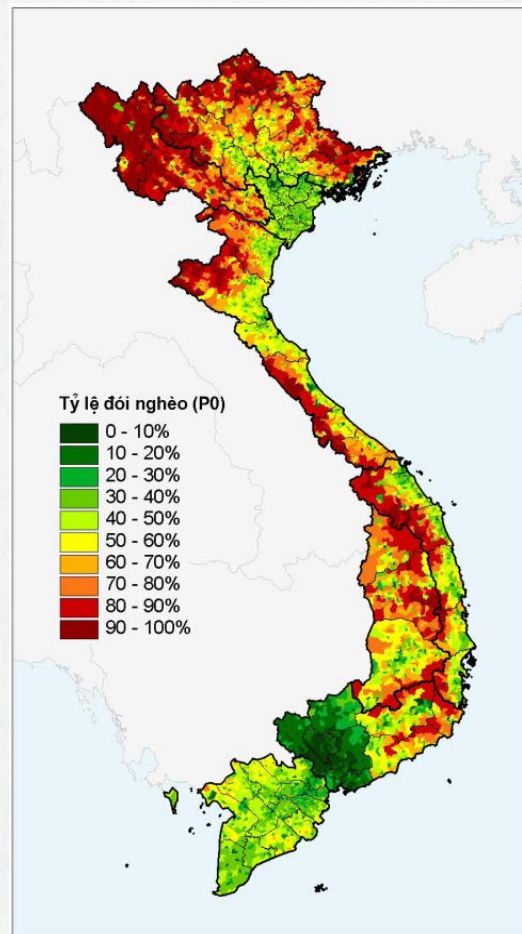
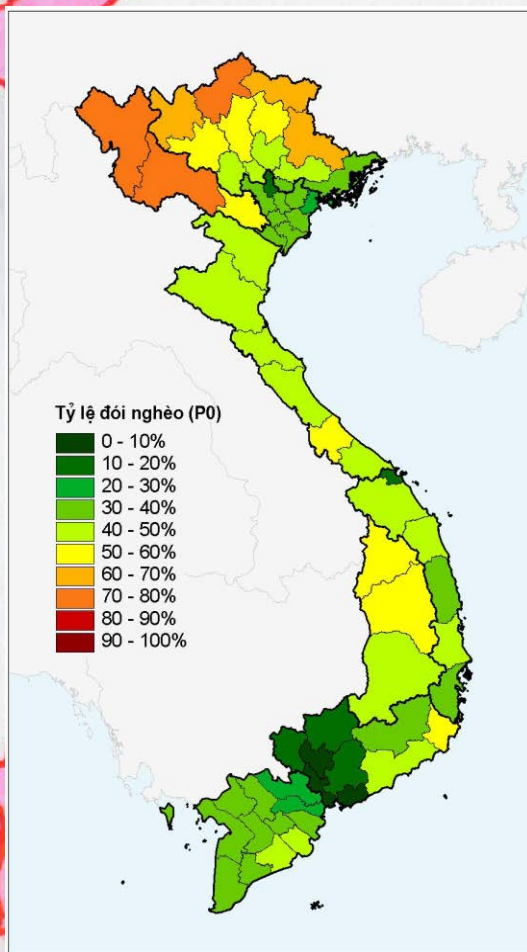


地域別に見た平均農村所得

- 石塚二葉編『ベトナムの「第2のドイモイ」』
- P114
- 2012年統計農民一人あたりの月収(千ドン)
- 紅河デルタ 1,978
- 北部山地 1,206
- 北中部・中部沿岸 1,472
- 中部高原 1,564
- 東南部 2,702
- メコンデルタ 1,733

貧困地帯

省単位.....村単位



地方間格差・都市農村格差

- 格差は大きいが若干縮小傾向？

地方間格差(紅河デルタ=100)						
年		1993	1998	2002	2006	2010
紅河デルタ		100	100	100	100	100
東北地方		73	66	76	78	67
西北地方		73	66	56	57	47
中部北方		69	71	67	64	58
中部南方沿岸		78	83	87	78	74
中部高原		78	86	69	80	69
南部東方		173	227	176	163	138
メコンデルタ		116	93	105	96	79
地方間格差		2.51	3.44	3.14	2.86	2.93
都市と農村の格差						
都市/農村		1.95	3.66	2.26	2.09	1.99

民族間格差

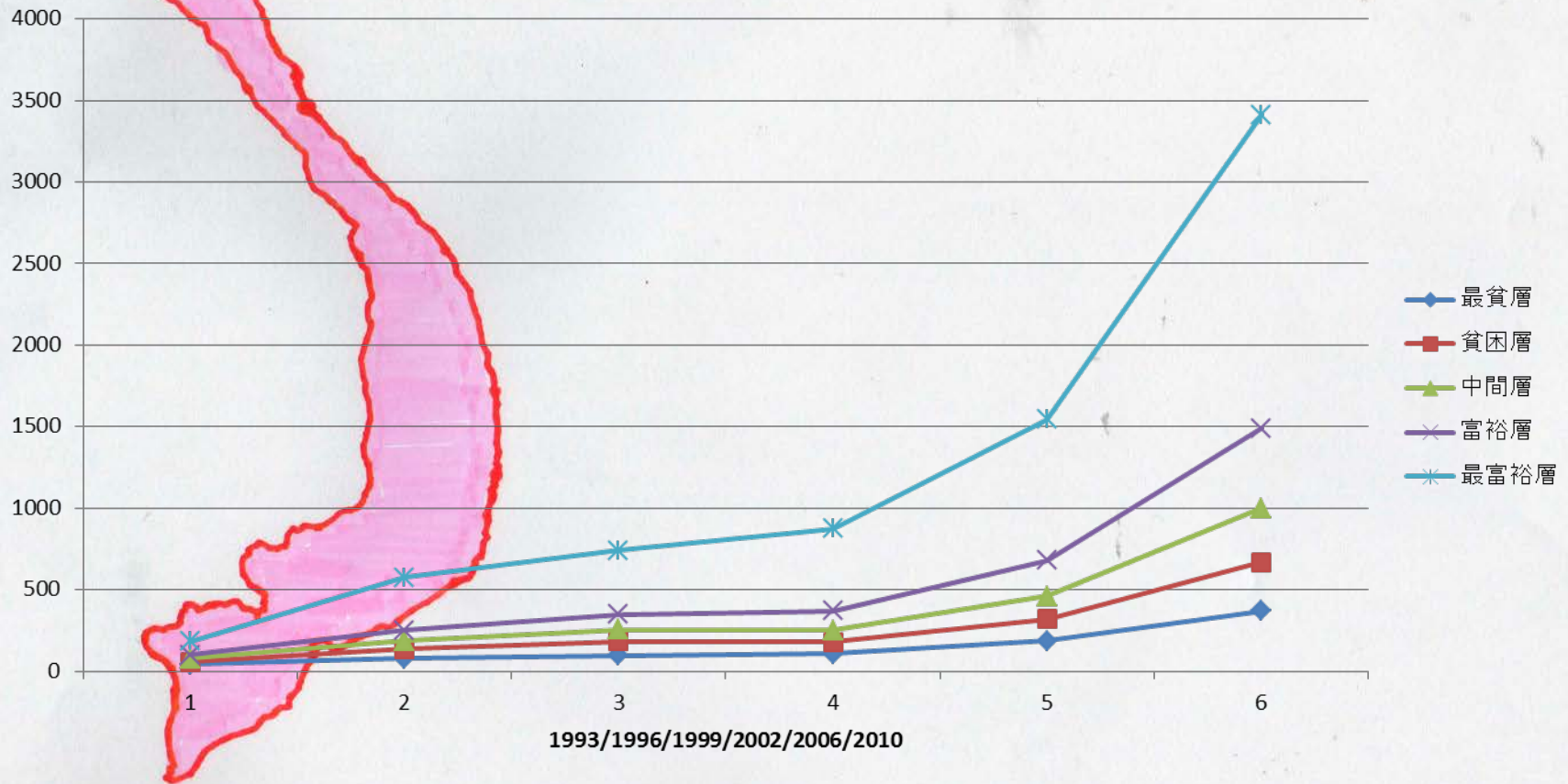
● 石塚二葉編 115ページ

	キン族・華人	その他
● 都市部	3,180	1,772
●	(3.44)	
● 農村部	1,902	924
●	(2.06)	

()内 924=100

階層別月収の推移 階層間格差は増大

階層別月収の推移1993～2010



階層別収入②

- 富裕層の収入増加率 > 貧困層の増加率
- 階層間格差 4.4倍から9.2倍に拡大

階層別収入	1993	1996	1999	2002	2006	2010	2010/1993
年	1993	1996	1999	2002	2006	2010	2010/1993
最貧層	41.1	78.6	97	107.7	184.3	369.3	4.7
貧困層	57.8	134.9	181.4	178.3	318.9	668.5	4.96
中間層	79.6	184.4	254	251	458.9	1,000.20	5.42
富裕層	99.2	250.2	346.7	370.5	678.6	1,490.40	5.96
最富裕層	182.5	574.7	741.5	872.9	1541.7	3,411.00	5.94
格差	4.4	7.3	7.6	8.1	8.4	9.20	

世銀の指標

- 階層間格差は増大傾向
 - それが著しいレベルには達していない
 - 世銀の指標
 - 国民の貧しい40%の収入が国民総収入に占める割合 17%以上 平等な社会、
12~17% やや不平等な社会 12%以下
不平等社会
- ベトナム 20%(1994), 17.98%(2002),
17.4%(2006), 15%(2010)

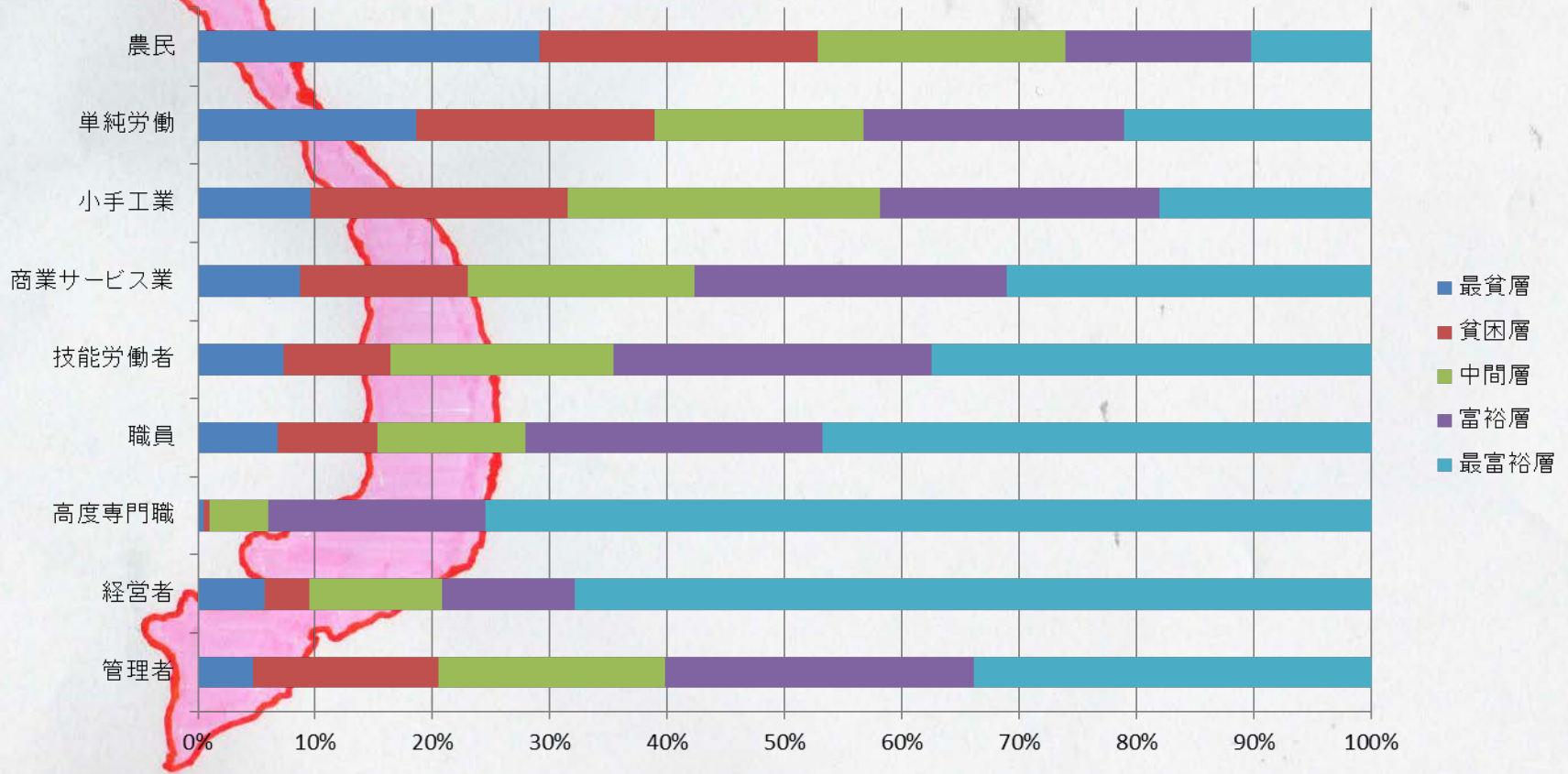
職業と収入



	最貧層	貧困層	中間層	富裕層	最富裕層
管理者	4.7	15.8	19.3	26.3	33.9
経営者	5.7	3.8	11.3	11.3	67.9
高度専門職	0.5	0.5	5	18.5	75.5
職員	7.3	9.1	13.4	27.1	50
労働者、技術者	7.3	9.1	19	27.2	37.5
商業サービス業	8.7	14.3	19.3	26.6	31.1
小手工業	9.6	21.9	26.6	23.8	18
単純労働	18.6	20.3	17.8	22.2	21
農民	29.1	23.7	21.1	15.7	10.3

職業と階層

職業と階層



家計支出の増加

- 家計支出も増大
- 家計支出中の飲食費
- 93-66%, 02-53.5%, 10-52.9%
- 耐久消費財 99-3.9%, 06-9.2%
- 教育費 99-4.6%, 06-6.4%


月平均一人あたりの生活支出						
年		2002	2004	2006	2008	2010
全国		269.1	359.7	460.4	704.8	1,138.50
都市		460.8	595.4	738.3	1,114.80	1,726.00
農村		211.1	283.5	358.9	548.3	890.6

家計支出の階層差

- 対収入比(2010)
- 最貧層1.34、貧困層1.07、中間層0.91
- 富裕層0.85、最富裕層0.68

	2002	2004	2006	2008	2010
最貧層	123.3	160.4	202.2	329.7	494.4
貧困層	169.7	226	286	460.1	717.1
中間層	213.7	293.8	376.9	568.1	912.2
富裕層	290.3	403.9	521.9	776.3	1260.5
最富裕層	548.5	715.2	916.8	1,390.80	2,309.50
格差	4.45	4.46	4.53	4.22	4.67

耐久消費財の普及状況



	1993	1998	2002	2006	2010
自動車	0.15	0.23	0.1	0.1	1.3
オートバイ	10.7	23.8	32.3	52.7	96.1
電話		8.4	10.7	33.5	128.4
コンピューター		0.9	2.4	7.5	17
カラーテレビ	9.1	40.8	52.7	78.2	85.9
ビデオデッキ	3.1	19.8	22.5	43.7	54.2
冷蔵庫	4.1	10.9	10.9	22.7	39.7
クーラー	0.1	0.8	1.1	3.1	9.4
洗濯機	0.3	2.8	3.8	9.3	17.6

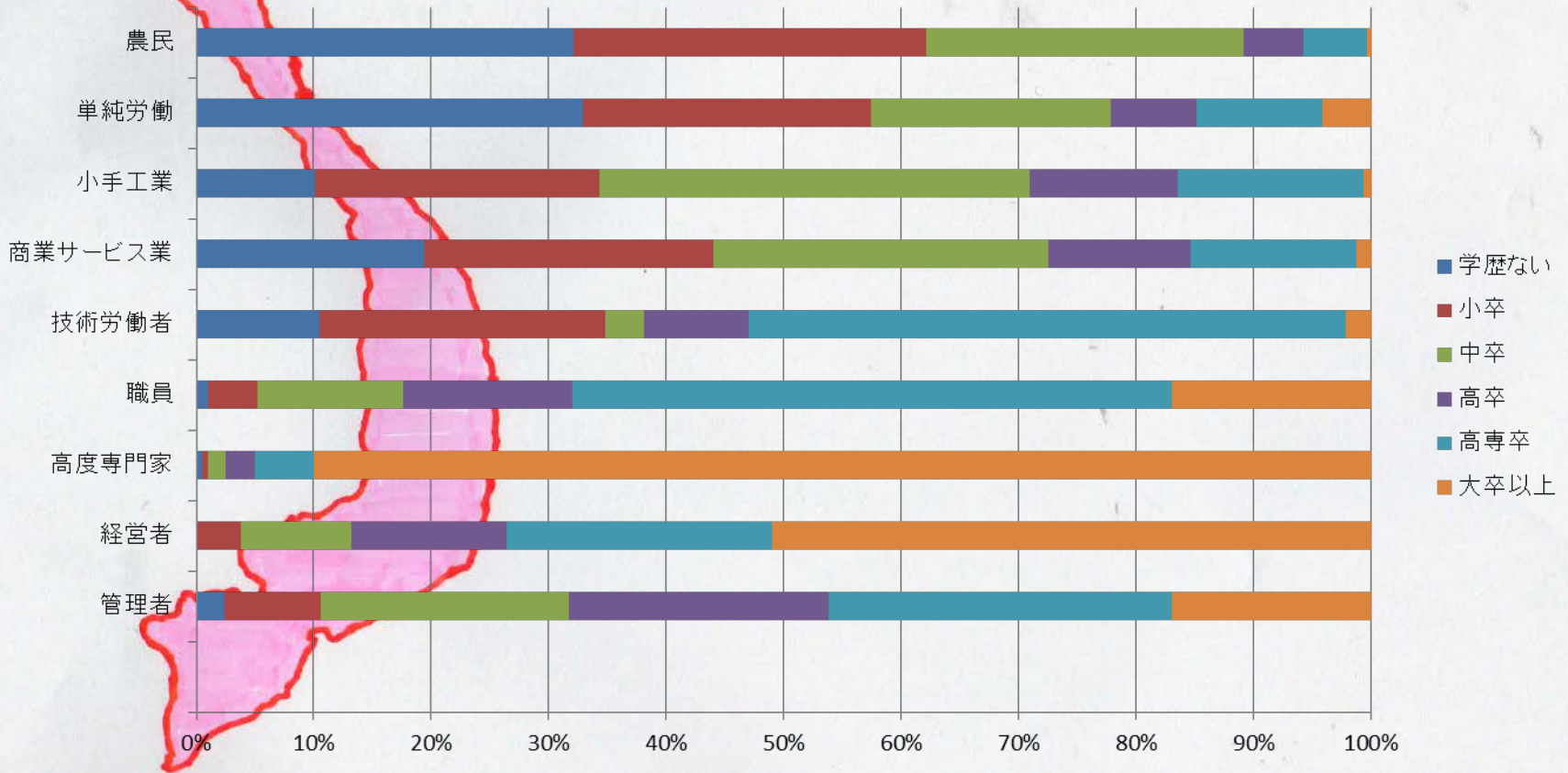
耐久消費財の階層別所有 2010年



	最貧層	貧困層	中間層	富裕層	最富裕層
自動車	0.1	0.1	0.2	10	4.5
オートバイ	51.4	73.7	91.2	114.5	138.8
電話	54.5	92	119.9	160	198.8
コンピューター	1	3.1	8.2	21.4	45.5
カラーテレビ	65.1	80.2	85.5	90.5	103.1
ビデオデッキ	35.8	48.7	56.9	62.6	63.1
冷蔵庫	6.7	20.1	36.2	56.5	71.6
クーラー	0.5	2.3	6.6	16.7	36.2
洗濯機	0.8	3.2	9	23.6	45.9

職業と学歴

職業と学歴2008年



職業と学歴(表)



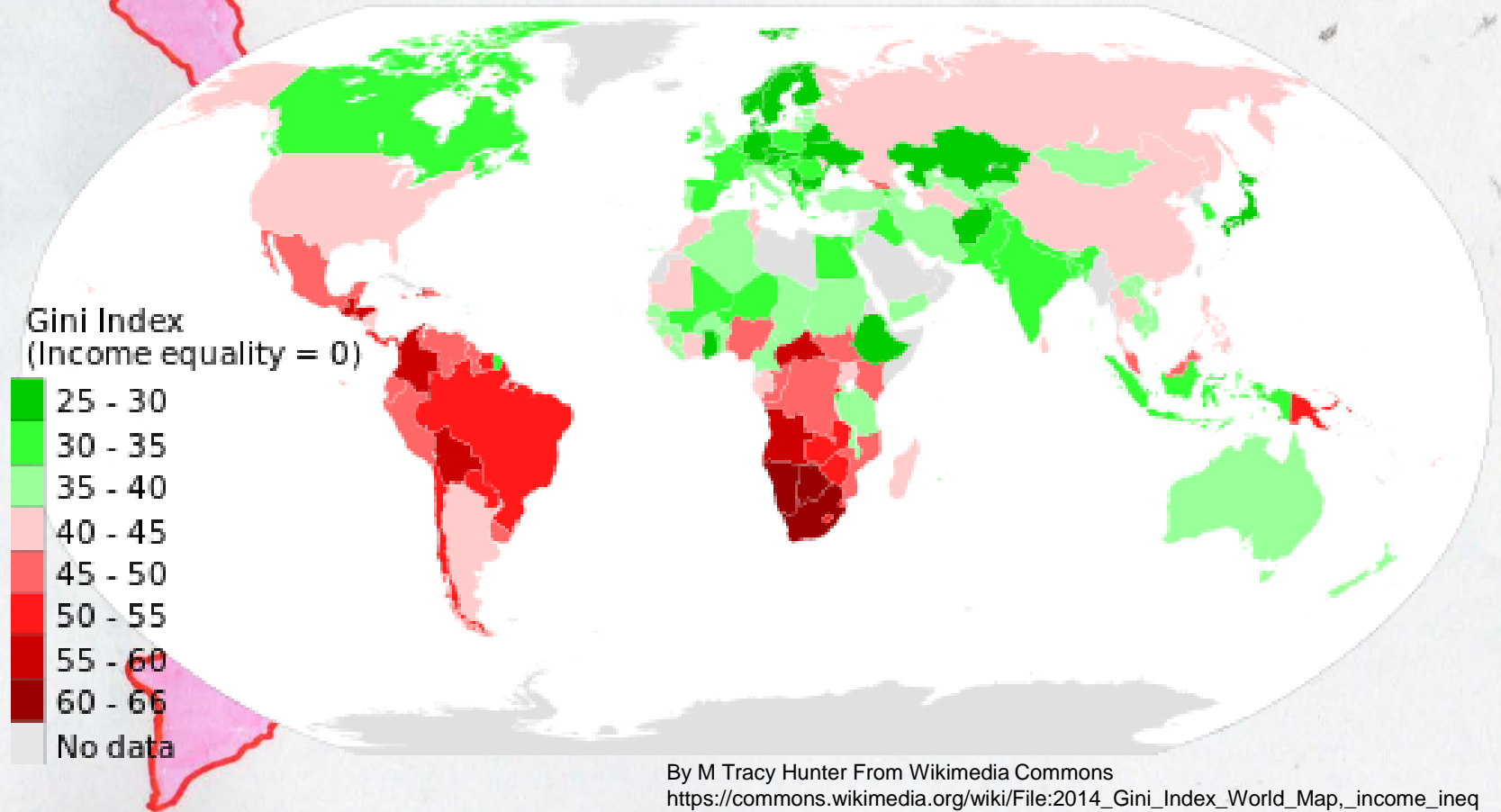
	学歴ない	小卒	中卒	高卒	高専卒	大卒以上
管理者	2.4	8.2	21.1	22.2	29.2	17
経営者	0	3.8	9.4	13.2	22.6	50.9
高度専門家	0.5	0.5	1.5	2.5	5	90
職員	1	4.2	12.4	14.4	51	17
技術労働者	8.2	19	2.6	6.9	39.7	1.7
商業サービス業	19.4	24.6	28.5	12.1	14.1	1.3
小手工業	10.1	24.2	36.7	12.6	15.8	0.7
単純労働	32.9	24.5	20.4	7.3	10.7	4.2
農民	32.1	30	27	5.1	5.4	0.4

GINI係数

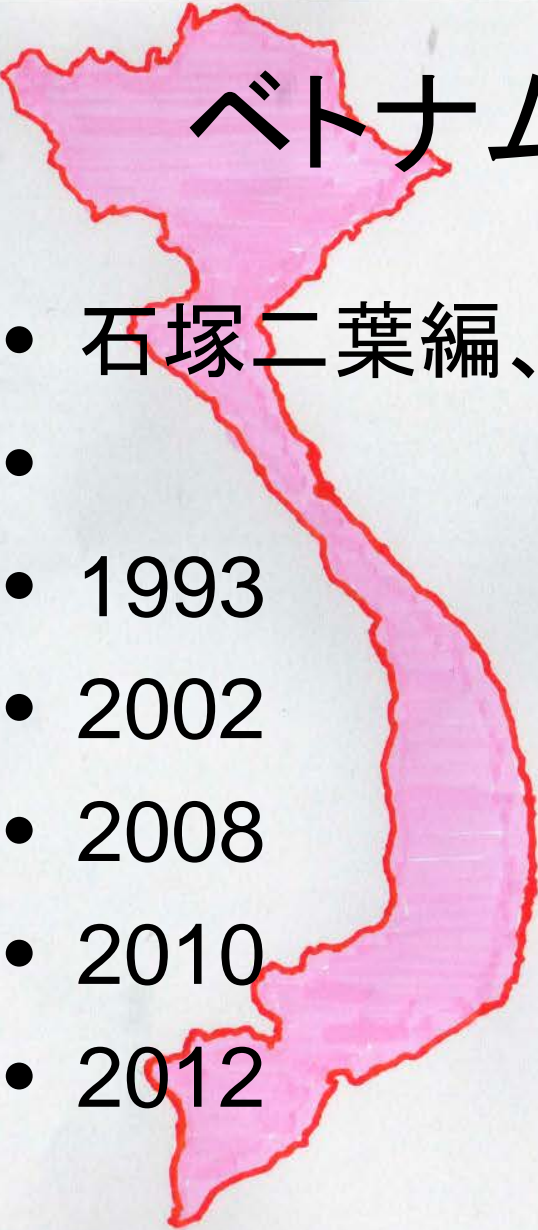
- ベトナムの数値
- 1995-0.357, 1999-0.390, 2004-0.42
- 2010-0.43
- 国際比較(世銀)
- カンボジア0.379(08)、中国0.47(07)
- インドネシア0.34(05)、日本0.381(02)
- マレーシア0.462(09)、タイ 0.40(09)

GINI係数地図

2014年世界銀行



By M Tracy Hunter From Wikimedia Commons
https://commons.wikimedia.org/wiki/File:2014_Gini_Index_World_Map_income_inequality_distribution_by_country_per_World_Bank.svg (ref. 2017/5/ 23) **CC BY-SA 3.0**

A pink map of Vietnam is positioned on the left side of the slide, partially overlapping the title and the list of years. The map shows the outline of the country with a red border.

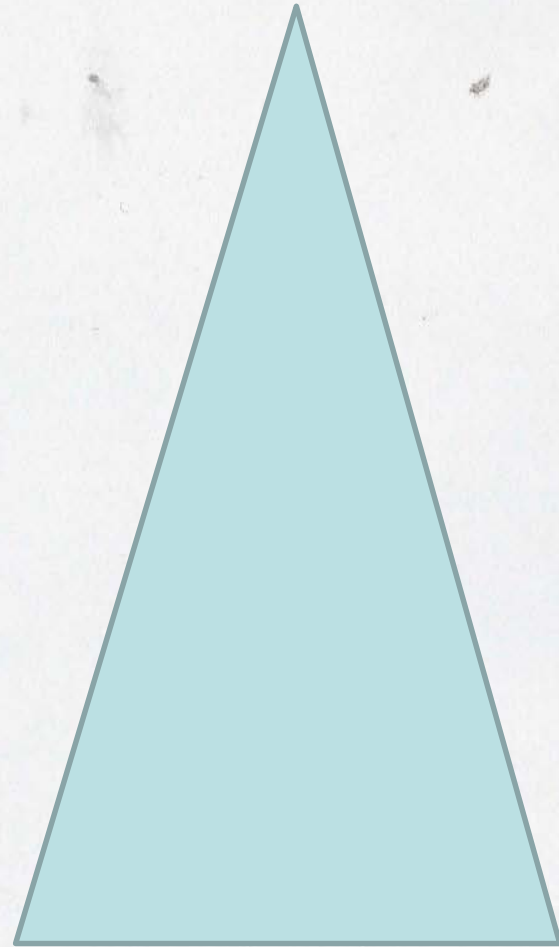
ベトナムのジニ係数の推移

- 石塚二葉編、112ページ

	消費ベース	所得ベース
• 1993	0.329	
• 2002	0.370	0.42
• 2008	0.356	0.42
• 2010	0.393	0.43
• 2012	0.356	0.39

現代ベトナムの社会階層

- 上層 管理者 1.9%
- 経営者 0.6%
- 高度専門家 2.2%
- 中間層 職員 3.3%
- 技能労働者 2.5%
- サービス業 12.0%
- 下層 単純労働者 16%
- 農民 47.3%





階層分化に関する公的施策

- 階層分化は市場経済の必然的産物、一定の範囲の分化は成長を促進
不正な蓄財による富裕化などの「不適切な階層分化」、および過度な階層分化は抑止



ベトナムの都市化

- 都市人口比率

- | | 1960 | 1970 | 1980 | 1990 | 2000 | 2010 |
|-------|------|------|------|------|------|------|
| 東南アジア | 18.1 | 20.5 | 24.4 | 31.6 | 38.2 | 41.8 |
| ベトナム | 14.7 | 18.3 | 19.3 | 20.3 | 24.5 | 30.4 |

ベトナムの都市人口(2014年)33%

★経済成長に比して都市化率の上昇緩やか

★スラム街の拡大見られず

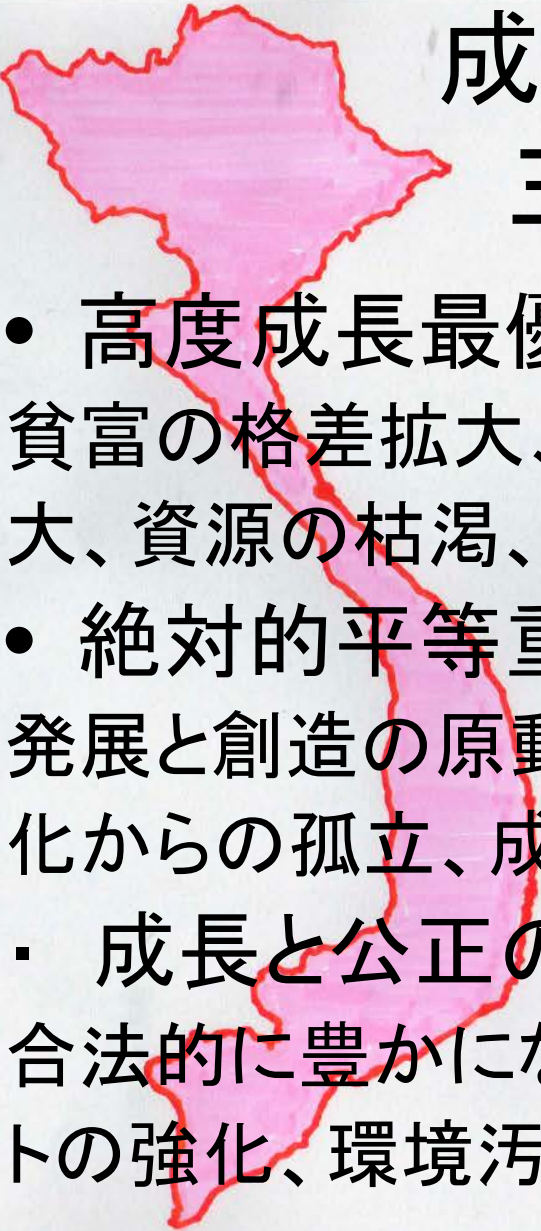


外資＋安価な労働力の 資源浪費型経済発展からの転換



共産党・国家の開発戦略

- 社会主義という看板 貧困削減 公平
- 世銀などの社会開発重視戦略への転換
- 中国の高度成長の「教育効果」、中進国の罨
- 成長と貧困削減(社会的公平)の両立
- 2011年1月ベトナム共産党第11回大会
- 2020年までにベトナムを現代的工業国に
- 年平均7~8%の経済成長
- 経済成長モデルの転換・・・急速な発展と持続可能な発展の結合 経済・・・安定成長 社会・・・貧困削減、格差是正 環境・・・環境保全、公害防止



成長と社会的公正 三つのシナリオ

- 高度成長最優先

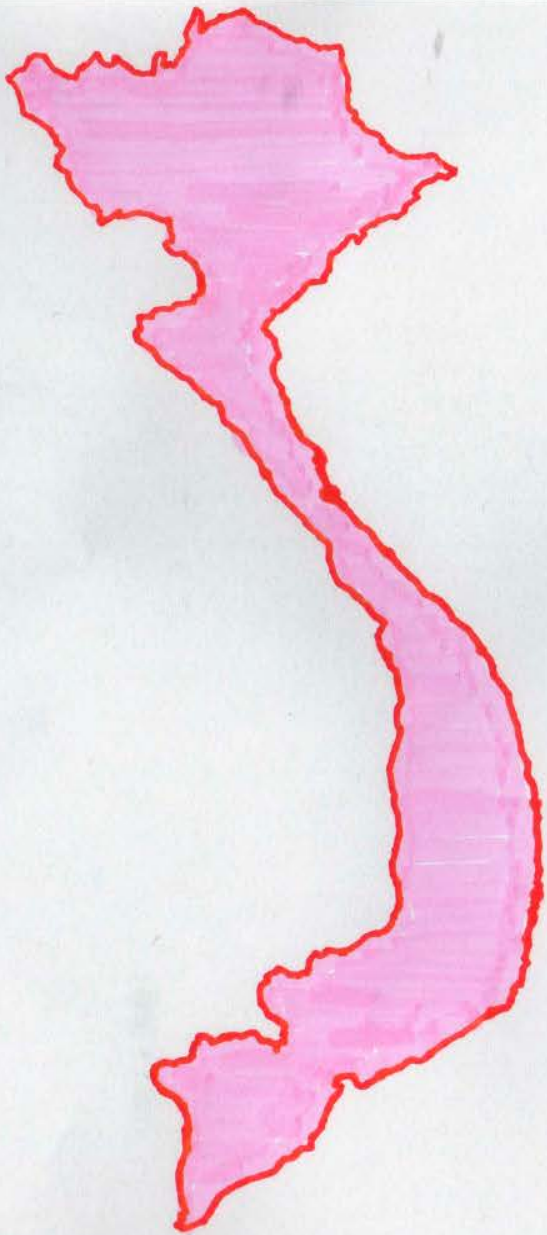
貧富の格差拡大、社会問題の深刻化、環境汚染の拡大、資源の枯渇、持続性の欠如、危機

- 絶対的平等重視

発展と創造の原動力の消耗、頭脳流出、グローバル化からの孤立、成長の機会喪失、後進性の固定化

- 成長と公正の両立

合法的に豊かになることを奨励、社会的セーフティネットの強化、環境汚染の制限、持続的発展・・・



環境問題

II. Sustainability in the context of global change

Challenges for SD in Vietnam

1. Disasters

2. CC impacts & vulnerability

3. Environment pollution

4. Poverty

5. Limited financial resources

6. Biodiversity and natural resources degradation

7. Intersectorial collaboration, coordination limited

8. Science, technology not highly developed

9. Weakness of VN people

気候変動の影響を 最も受けやすい国の一つベトナム

- 海面上昇 25cm

メコンデルタ 14%、ホーチミン市12%、フエ
5%冠水

- 海面上昇 50cm

メコンデルタ 32%、ホーチミン市15%、フエ
5.6%冠水

- 海面上昇 1m

メコンデルタ 67%、ホーチミン市21%、紅
河デルタ 11.2%

台湾の製鉄企業の排水による 大量の海魚の被害

- 2016年 ベトナム中部
ハティン、クアンビン、ク
アンチ、トアティエン・フ
エ省沿岸で100トンの
海魚が死ぬ事件
- フォルモサ製鉄所の排
水が原因
- ベトナム最大の環境汚
染事件



Photo by VnExpress/Tien Hung



日越大学とサステイナビリティ学

経緯①

- ① 最初の提案 2009年第1回日越学長会議の際にベトナム政府から 国際水準の大学を日本の支援で（先行する国際大学としては、越仏大学、越独大学など）
- ② 民間での検討
日越関係のシンボル
- Center of Excellence+現地の社会的ニーズに応える実践的人材の養成
- 従来の日本の大学との交流・協力の実績重視
- しっかりしたベトナム側のパートナーが必要

経緯②

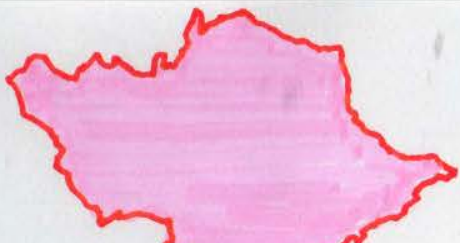
- ③ ベトナム国家大学ハノイ校 (VNU) をパートナーに
- ベトナムを代表する総合大学
- 日本の大学との交流の実績
- 首相府直轄で動きやすい
- 2011年10月に提案、VNU執行部前向き
- ④ 武部勤氏 (元日越友好議員連盟会長、元自民党幹事長) の登場 政府間の合意へ

経緯③

- ⑤ 2013年JICAの基礎調査(プレFS)
- 6000人規模の総合大学をVNUの傘下に
- VNUも移転するホアラクにキャンパス
- 当面、サステナビリティ学を掲げた大学院
(修士課程)を2016年に設立
- ⑥ 2014年3月 チュオン・タン・サン国家主席訪日の折の共同声明に明記
- ⑦ 2014年7月 ベトナム政府認可VNUを構成する大学としての日越大学設置認可

経緯④

- ⑧ JICA 2016年発足の大学院に関する人材派遣、資材供与は技術協力で(2015年1月正式契約)
- ⑨ 推進議員懇話会(二階名誉会長、河村和夫会長)、官邸タスクホース(官房副長官)、有識者会議(座長 越村東急グループ相談役)発足
- ⑩ 2016年9月 日越大学開学式



開学式①

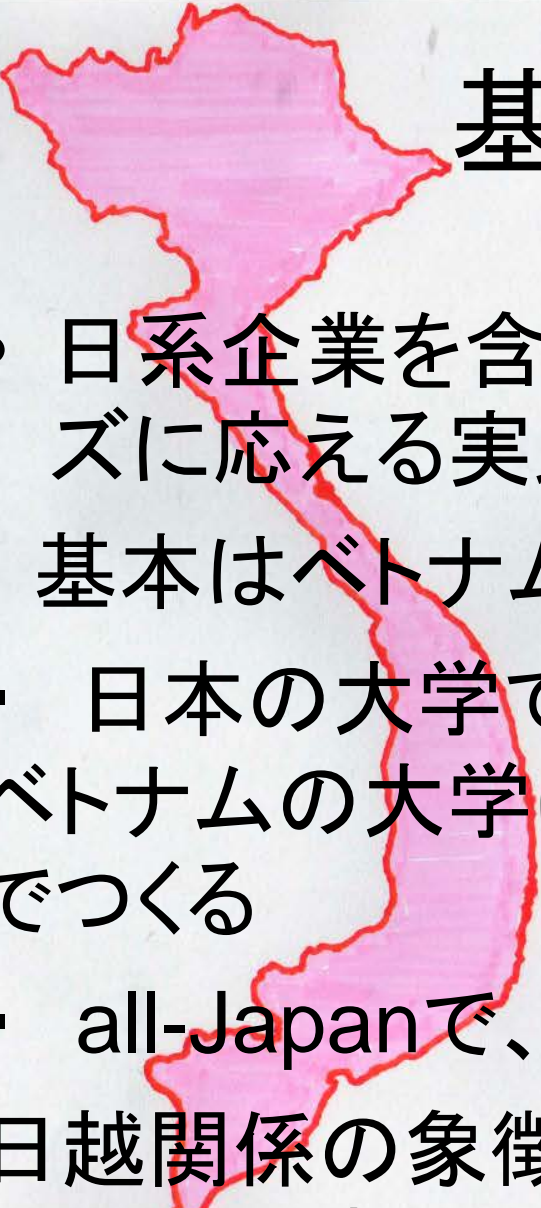


開学式②



ベトナムの首相の訪問





基本的な考え方

- 日系企業を含むベトナムの現地の社会的ニーズに応える実践的人材養成を重視するが
基本はベトナムの新たなCenter of Excellence
- 日本の大学ではなくベトナムの大学、従来のベトナムの大学にはなかったものを日本の協力でつくる
- all-Japanで、大学、政府、民間の力を結集
日越関係の象徴的事業、ただしアジアと世界に開かれた事業に



大学院6プログラム

①地域研究 Area Studies(日本研究・ベトナム研究) 東大

• ②公共政策 Public Policy 筑波大

• ③企業管理 Business Administration 横国大

④環境技術 Environmental Technology 東大、立命館

⑤ナノテク Nano-technology 阪大

⑥社会基盤 Infrastructure Engineering 東大
予定 気候変動と発展 茨城大

全プログラムを横断する共通理念 サステイナビリティ学

- 必修の共通科目
- Basic Sustainability Science
- Methodology and Informatics for Sustainability Science

Sustainability Science (SS): approach

SS must be based on interdisciplinary approach,
method system of interdisciplinary sciences:

